

ニュースから考える

新年早々、日本中に衝撃が走りました。日本人に見れば遥か遠くの出来事と思っていたイスラム過激派組織「イスラム国」に日本人 2 人が拘束され身代金が要求される事件が起きました。

自称「イスラム国」と国家を名乗る組織ですから、当然、指導者、幹部、国民(組織の構成員)がいます。その指導者・幹部が国民にお金のためなら「人を殺せ、奴隷にし、身代金を要求せよ」等々



の指示を出すのですから国家と呼べるかどうかも疑問です。ましてやそもそも宗教の名において世界中から人種を超えて集まった組織なのです。

一方、昨年少女が起こした不幸な事件が続きました。北海道の事件は祖母と母親による虐待が原因と思われる。

国・会社・家庭・その他の組織にとって主(指導者、経営者・主人)が間違った考え方を持っていると不幸な結果を招くことは容易に理解できます。

主にとって「正しい考えとは」何かを見つめなおす必要がありそうですね。

1分でわかる業務カイゼン

今月は歴史から「正しい考え」とは何かを学んでみましょう。日本資本主義の父と呼ばれる渋沢 栄一氏は幕末の武士(幕臣)であり、話題の「理化学研究所」の創設者でもあります。

明治維新後、銀行、ガス、保険、鉄道、ビール会社等の 500 以上の設立に関わりましたが他の実業家と異なり財閥を作らず「私利を追わず公益を図る」との考えを生涯に亘って貫いた人物です。

彼の「正しい考え」の基礎は幼少期に学んだ『論語』です。渋沢氏に限らず、稲盛和夫氏、安岡正篤氏、中村天風氏等の経営者に影響を与える人物の多くも論語の大切さを説いています。そこで今月は経営者の心構え「論語」について学んでみましょう。



誘惑に負けない不義(ふぎ)にして富み且(か)つ貴(たつ)きは浮雲(ふうん)の如(ごと)し

不正な手段で得た地位や財産は、浮雲のように頼りなくはかないものです。

子曰く、君子は義に悟り、小人は利に悟る

孔子先生は言いました(以下省略)。(君子=素晴らしい人)は、自分の利益よりも正義の心を優先するが、(小人=つまらぬ人)というのは、自分の利益ばかりを優先する。

国を有(たも)ち家を有つ者は、寡(すくな)きを患(うれ)えずして均(ひと)しからざるを患え、貧しきを患えずして安からざるを患う

為政者・経営者・家長は、収入が少ないことを心配するのではなく、不平等がある事を心配

しなさい。また、貧しいことを心配するのではなく、安心して暮らせないことを心配しなさい。

子曰く、人の生くるや直し。これをしいて生くるや、幸いにして免がるなり

人がこの世に生かされているのは、まっすぐに生きているからです。ゆがんだ生き方をして長らえている者もいますが、それはたまたま免れているだけです。

また、巧言令色鮮し仁（こうげんれいしよくすくなしじん）言葉巧みで、人から好かれよう



と愛想を振りまく者の中には誠実でない人間もあり、そのような人は最も大事な徳である仁の心が欠けていると論語に記されています。不器用でも、誠実で他の人のために一生懸命努力するという「考え」と「利益」

は両立します。

数々の企業を創業した渋沢氏の考えの基本は「論語（義・倫理）とそろばん（利益）は両立する。」と言う事です。勇気づけられますね・・・

事務所からのお知らせ

税制の動向など「税に関する情報」などをリアルタイムでインターネットに公開中です。

「手稲区 佐藤税理士ニュース」で検索するか、事務所のホームページ右下の [Facebook](#) をクリックしてご覧ください。



こちらをクリックすると「ニュース」が紹介されています。

今月のことば

数字算出の確固たる見通しと、裏づけのない事業は必ず失敗する。 渋沢栄一

TKCが証明している12月31日現在の当事務所のお客様の「黒字決算割合」	最近一年間	前年同月	当事務所は80%を目指し、最大限お客様を応援します。
	77.3%	78.9%	

編集後記:

今月号で事務所通信の発行は60回目となりました。第1号発行時はパソコン2台でスタートしましたが、新しい事にチャレンジし続けた結果、5年間経過した現在ではサーバー、オフコン、パソコンを合計するとスタッフ数の倍以上ある過剰設備状態です。次なる課題は設備の完全活用です。(寿)